

2013年4月18日 第2回宇宙産業部会

宇宙産業拡大と「安全保障・防災衛星ネットワーク構想」

背景： 宇宙産業部会委員・京都大学教授 山川 宏

- ・宇宙産業競争力の強化は喫緊の課題。
- ・宇宙産業拡大のため輸送系と共に継続的宇宙インフラの構築が必要。
- ・主要宇宙インフラであるリモートセンシング衛星システムの構築とその海外展開が必須。

構想概要：

- ・日本が主導する安全保障・防災・海洋監視のための衛星ネットワークの構築(ASEAN防災ネットワーク構想を包含)。
- ・ASEAN各国に日本の衛星を提供し、日本—ASEANによる 衛星系・地上系ネットワークを構築。参加国は衛星1機の経費を分担し、ネットワーク全体の衛星データを利用。
- ・光学衛星、レーダ衛星の組み合わせによる「高分解能・高撮像頻度・継続的観測衛星システム」の構築。
- ・政府のトップセールスが必要。

意義：

- ・宇宙利用産業の拡大と海外インフラ展開を推進。
- ・日米安全保障協力の推進。
- ・日本ASEAN協力の推進。人材育成、雇用創出に貢献。

国家戦略としての宇宙基本計画の概要

赤字は「安全保障・防災衛星ネットワーク構想」に関連する部分

2つの基本方針:

「利用の拡大」、「自律性の確保」

3つの重点項目:

「安全保障・防災」、「産業振興」、「宇宙科学等のフロンティア」

4つの社会インフラ:

「測位衛星」、「リモセン衛星」、「通信・放送衛星」、「宇宙輸送」

宇宙産業基盤:

「官民連携」、「パッケージ型インフラ海外展開」、「研究開発」

情報収集・調査分析

「宇宙政策委員会、JAXAの機能強化」

宇宙外交の推進:

「多国間協力の着実な推進」、「二国間関係の強化」

宇宙を活用した安全保障政策:

「情報把握」、「情報共有」、「指揮・統制」

環境への配慮:

「国際的な対話」、「宇宙状況監視」、「デブリ除去技術開発」